

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告（その20）です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2021 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の45企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

◇ 企業紹介

【株式会社ちらし屋ドットコム】

ちらし屋ドットコムという社名ですが、折込チラシやちらし寿司を作っている会社ではありません。WEB事業部は、地元岐阜の企業様向けに、ホームページを中心としたWEBの活用を支援しています。またEC事業部では、Made in Japan・Made in Gifuの商品を中心に世界12カ国へ販売している会社です。



【HP】 <https://www.chirashiya.com>

SDGs	今後の目標		
------	-------	---	---

◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・地元の企業として活動していることで助けられている部分があることを初めて知ることができました。ちらし屋さんはwebを使って地元の人のお店のホームページを作り、町の活性化に繋がったり、インターネットを使える人を増やしたりして助けていることがわかりました。外国には岐阜県産のものを販売するなど地元の良いところを発信していくことで、地元であるこの地も会社も知られていくのでとても良い取り組みだと思いました。

・私はこの会社の名前を聞いた時、新聞に折り込まれているような広告を作っている会社だと思っていました。だから、webページを作っている会社だと知った時はとても驚きました。そして、この会社はSDGsや環境に優しいパソコンを使うなどの環境への取り組みをされていて、私は学校でそのことについて勉強したばかりなのでとても興味深かったです。また、1日に何回そのwebページが見られたかをデータとして確認することができることと、その数がだいたい5000回ということを知りました。私は、webページが1日に見られている回数は300回くらいだと思っていて、そんなにも見られていると思っていなかったのがとても驚きました。そして何より『みんなに優しいwebページを作る』というモットーがとても素敵で素晴らしいと思いました。

・僕が初めてこの社名を見たとき、宣伝業をやっているのかと思っていたが、実際には自分がよ

く知っている公共施設のホームページに使われていることを知って驚いた。他にも将来の時代を担うエンジニアの人材が不足しているという点が僕には驚きだった。しかし課題がある中で、この会社が世界 13 カ国に地元の製品を輸出しているということを聞いて、実は岐阜県と海外との接点は意外に大きいのかもしいと思った。

・主にウェブサイトの作成を手がけている会社なのですが、目の不自由な方、耳の不自由な方に優しいものを作ろうと、映像の字幕表示を具体的にし、声だけで具体的に説明できるような努力をされていて素晴らしいと思いました。また、岐阜県の製品を世界中に向けて販売していることに驚きました。グローバル化をあまり実感していませんでしたが、今回のお話を通して、これからも世界の国々との関わりが大切になることを実感することができました。岐阜県の製品がちらし屋ドットコム様を通して、世界中に送られていることをとても嬉しく感じました。社員の方々の一人一人の良さを引き出して、仕事を楽しんでできているからこそ、少ない人数で多くの役割を果たすことができているのだと感じました。今回は本当にありがとうございました。

・初めに無駄を無くしたい！というキャッチフレーズに惹かれました。紙がデータになって便利な時代になったけれど、分からないこともそれと同時に増え、その解決のお手伝いをしているのだとわかりました。また、EC 事業部は日本から世界へコロナ禍でなかなか移動出来ないが、ネットを通して日本を紹介していくことが異文化理解や、多文化共生で世界との窓口になっているのだと思いました。

・お話を聞いて、web ページを作るだけでなく、会社で岐阜の特産物を海外 13 カ国に発信して届ける活動をしていてすごいと思いました。その経験からよりよい web ページを作ることに繋がっていると感じました。また、キャリアアップのために地元で就職して、子育てと両立しているという社員の方のお話を聞いて、それをリモートワークの取り入れなどで支援して、ディーセントワーク達成に向けて取り組んでいて素晴らしいと思いました。

・情報発信していくために目や身体が不自由な人などにもやさしいものを作るように心がけていることが分かった。データを扱う仕事なので積極的にテレワークにも対応しているので家事や育児と両立したいお母さんにもできる仕事だと思った。仕事は他にもあり、海外に日本のものを販売するものもある。特に地元である岐阜県産のものを積極的に販売している。ここから地元をととても大切にしているなと感じた。

・僕は、ちらし屋さんは名前から、ちらしや広告を扱う会社だと思っていましたが、HP などを作ったりする会社だと聞いてびっくりしました。ちらし屋さんは様々な企業の HP などを作っていて、特に地元の企業に力を入れているそうです。例えば長良川鉄道などです。HP を作れない、綺麗なものを作って欲しいという願いに応える会社であると知り、助け合いの大切さを学んだ。